

(参考様式3)

会 議 録

会議の名称	令和2年度第3回東村山市立図書館協議会			
開催日時	令和3年3月15日(月)			
開催場所	書面開催			
出席者及び欠席者	●参加者： (委員) 伊藤浩介委員・大堀浩委員・竹澤廣介委員・真野朋子・石河聡子委員・徳永靖子委員・堀渡委員・黒尾和久委員・宮川健郎委員 ●不参加者：なし			
傍聴の可否	/	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数
会議次第	(1) 令和2年度事業及び利用状況について (2) 第4次東村山市子ども読書活動推進計画策定状況 (3) その他			
配布資料	配布資料 1. 報告次第 2. 利用状況の推移 3. 「第4次東村山市子ども読書活動推進計画(案)へのパブリックコメント結果 4. 東村山駅周辺高架下利活用に向けたWEBアンケート(抜粋)			
会議方法の変更について	令和2年度第3回東村山市立図書館協議会は、緊急事態宣言期間(令和3年1月7日～3月21日)であったことから、書面開催に変更して実施した。事前に各委員へ報告資料を郵送し、電子メールまたはファックス、郵送により各委員から意見聴取を行い、取りまとめた。			
問い合わせ先	事務局 東村山市立中央図書館 担当者名 野口 電話番号 042-394-2900 FAX番号 042-394-4107			

会 議 経 過

報告資料に対する意見

(1) 令和2年度事業及び利用状況について

冬休みお楽しみパック

- 今年度は無いと思っていたが、「いつもの年と同じ」を感じることができて安心感をもたらした。廻田図書館の「ネタばらし」は大変楽しい企画だと思う。他の館でも、パック内の題名だけでも知ることができたら新たな本との出会いにもつながると思った。
- 4年目に入り、利用者に定着、準備パック数、貸出パック数の増加は、うれしい報告だった。新規のイベント開発も期待したい。
- 年末行事として定着していることは、実績からも明らかで、職員の熱意も利用者に伝わっていると思う。
- 好評なのはよくわかった。この事業は具体的にはどのような点が利用者に受けているのか、成功させる秘訣は何か、セットを作る時の配慮やこういう本を組み合わせるといいとか職員の方の手ごたえなどを教えてほしいと思った。

障害者サービス

- コロナ禍、障害者サービス（対面朗読等）の中止は、災害時は弱者へ負担が集中することを再確認する数字といえる。
- このコロナの状況で厳しいのが残念だ。再開が待たれる。
- 音訳の会の一員としてこの感染予防・感染状況の中どのようにこのサービスを維持するのか、難しく感じた。このような状態を想像していなかったので、リモートでできる体制も無く、場所の確保も難しい。利用者・朗読者の感染リスクなど課題が多いが「読むサービス」以外にも「聴くサービス」「届けるサービス」などいろいろなサービスを必要としている方々がいるはずだが、この状況で一気にそれぞれのサービスが停止してしまった。これから会としてもできることを考えていきたい。図書館としても地震・感染・他、社会的にコミュニケーションがしにくくなった状態での社会的、情報弱者にどうやってサービスを届けるか少しずつ考えて行く必要があると思う。

12月以降の利用

- コロナ禍の中で改めて図書館の存在の大きさ・大切さを痛感した。
- 度重なる緊急事態宣言下も、できる限りの開館に努め、コロナ禍で読書への関心が市民の中で高い中、業務維持をしていただき、職員の方々へ感謝したい。
- 利用状況においてもステイホームの影響がいい方向で作用していると感じる。

予約件数の増もサービスの拡大が利用者に定着してきているからだと思う。

- 令和2年秋には、「公共図書館の貸出冊数は回復している」というような話は、他市でも聞いていたが、貸出数、予約数の数年間の比較表を作っていただいでよく分かった。ゆっくり滞在して選べない今の図書館はたぶん皆に不自由感があるが、〈図書館から借りて本を読む〉というサイクルは確実にあって、人と会ったり外出に制約のある現在を支えていると思う。

資料収集方針の改訂

- 改訂作業過程の報告を、引き続き希望したい。
- ストーリー漫画以外の資料がどのようなものか具体的に説明がほしいと思う。
- ストーリーコミックでない漫画手法による知識本は、子ども用にも大人向きにもたくさんあるが、具体的にどの程度の範囲のことなのか、例示するなど、もう少し詳しく聞きたい。

(2) 第4次東村山市子ども読書活動推進計画の策定状況

- 真剣な市民の方へのご意見に誠実に向き合い、コメントされている。また、着々と4次計画への準備を進めていると思う。
- 「読書記録ノート」は今後更なるPR/配布を望みたい。大人にもうれしいノートだと思う。
- 学校図書館専任司書の配置については、やはり早急な対応が必要と感じた。実際に区部の学校へ行くと、その差が歴然としていて驚く。最重要課題だと思う。
- 学校図書館へのコメントが多く寄せられており、1校に1人配置が行えていない状況が問題であるとの認識の広がりを感じる。図書館システムの導入と合わせて、第4次での実現を願う。
- 子育て中の母親からの、児童書スペースへの意見、絵本の選ぶ際の子どもの見守りの希望、貴重な意見と思った。ユニバーサルデザインへの工夫を積極的に行う姿勢は、今後、ますます、求められるところだろう。
- 細部にわたってよく内容を読み込んでおられる方が数多くいることに心強く思った。子どもの読書について、深く考えている方々と共に私自身もかかわることができとても嬉しい。
- 市民意見は「計画」をよく読み込み、また市内の現状をよく把握されて、おおむね適切で鋭いものだったと思う。それに対する市の考え方は、市民意見の趣旨をきちんと受け止めて反応され、説明で済ませるものは計画と現状をさらに丁寧に説明して済ませ、変更するところは受け止めて対処しており、読みごたえがあった。

- 意見が35件あり、「子ども読書」への市民の関心が高いことが理解できた。期待に添えるような施策が推進できるといいと思う。

(3) その他

東村山市地域児童図書館補助金交付規則の一部改正

- 令和2年度の特例措置は、丁寧でよいことだと思う。現在の対象団体の経費や、活動状況などを具体的に知りたいと思った。

第6回子育てにやさしい大賞

- 市内で活動する読書に関するボランティア団体の活動や受賞のニュースを、地方紙、全国紙、タウン誌でとりあげてもらおうよう、情報発信をお願いしたい。若い世代の新規移住者の働きかけの一助になるのでは。
- 令和2年度はコロナ禍で、活動が難しい団体が多かったが、今後の更なる活動の範囲を広げていくために、引き続き図書館のバックアップをお願いしたい。

「東村山駅周辺高架下利活用に向けたWEBアンケート」より

- 2位が図書の貸し出し・返却とのこと。今後に期待が持てる結果だと思う。
- 図書の貸出・返却サービスが、全世代で上位に入ったことは、市民の図書館へ関心の高さ、ニーズを読み取れる結果となっている。既存の施設と新規施設を利用し、サービスをどのように再構築するのか、中期、長期デザインの策定が必要だと思う。